

名寄市地域公共交通活性化協議会 平成21年6月9日設置



名寄市

概要

名寄市は、バス利用者が年々減少し、市の財政を圧迫しているところ、生活交通を確保するため、新たな公共交通に関するサービスや魅力を構築し利用拡大を図るほか、利用者ニーズを踏まえた新たな交通方策の導入を図る必要がある。このため、市内バス路線の見直しや農村部と市街地を結ぶコミュニティバス・乗合タクシーの導入、一般住民混乗によるスクールバスの活用等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(名寄、風連、東風連、日進、北星、智恵文、智北駅)
- ・名士バス(株)(市内6路線、郊外5路線)
- ・道北バス(株)(郊外2路線)
- ・士別軌道(株)(郊外1路線)
- ・JRバス(株)(郊外1路線)
- ・北海道中央バス(株)(都市間1路線・道北バスと共同運行)
- ・スクールバス(5路線)
- ・医療バス(智恵文地区 市立病院通院患者送迎)

地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用者の減少等による収支の悪化
- ・路線バスの運行の効率化及びスクールバスの有効活用
- ・交通空白地域の利便性確保

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・交通空白地域におけるデマンド型交通の試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編
- ・デマンド型交通やコミュニティバスの導入
- ・スクールバスへの一般住民の混乗



国土地理院発行20万分の1地勢図より